



2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年4月25日

上場取引所 東

上場会社名 三菱鉛筆株式会社

コード番号 7976 URL <https://www.mpuni.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 数原 英一郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 蛇川 寿史 TEL 03-3458-6215

四半期報告書提出予定日 2019年5月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第1四半期の連結業績 (2019年1月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	17,610	5.9	3,168	△0.3	3,216	3.1	2,163	2.2
2018年12月期第1四半期	16,626	△10.5	3,179	△23.9	3,118	△24.8	2,115	△27.6

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 2,465百万円 (302.4%) 2018年12月期第1四半期 612百万円 (△77.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	37.83	ー
2018年12月期第1四半期	36.70	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第1四半期	118,115	90,422	75.2	1,555.30
2018年12月期	116,882	89,151	74.9	1,530.20

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 88,816百万円 2018年12月期 87,602百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	ー	14.00	ー	15.00	29.00
2019年12月期	ー				
2019年12月期 (予想)		15.00	ー	15.00	30.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2019年12月期の連結業績予想 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,000	0.8	8,500	△4.8	9,000	△3.1	5,500	△4.8	96.28

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期 1 Q	64,286,292株	2018年12月期	64,286,292株
② 期末自己株式数	2019年12月期 1 Q	7,180,334株	2018年12月期	7,037,452株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期 1 Q	57,182,519株	2018年12月期 1 Q	57,655,108株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(注1) 予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして実際の業績等は、様々な要因の変化などにより、予想とは異なる場合があることをご承知おき下さい。業績予想の前提となる条件等につきましては添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年1月1日から2019年3月31日まで)におけるわが国経済は、雇用・所得環境は依然として改善傾向にあり、個人消費は底堅く推移しました。一方で、欧州の政局不安や米中の貿易摩擦の長期化に伴う世界経済における懸念から、先行きへの不透明感を払拭できない状況で推移いたしました。

当社グループが属しております筆記具業界におきましては、お客様のライフスタイルの多様化に伴い、商品へのニーズが細分化していることに加え、インターネットを通じた流通の変化によって、お客様の商品購入の在り方が変容しつつあり、スピード感をもった商品開発や多様な販売活動に取り組み続けなければ競争に取り残されかねない厳しい市場環境が続いております。

このような経営環境の中、当社グループは「最高の品質こそ最大のサービス」という社是のもと、お客様が潜在的に抱えるニーズを具現化し、お客様の「かく(書く/描く)」行為に喜びや驚きといった彩りを添えることができるような商品開発に取り組んでまいりました。発売から12年を経過した現在も油性ボールペン市場を牽引し続けている油性ボールペン「ジェットストリーム」シリーズにおいて、手帳等に使いやすい「スリムでコンパクト」な軸形状で、プライベートな場面にも合わせやすいカラーバリエーションを揃えた「ジェットストリーム 3色 スリムコンパクト」を発売いたしました。また、シャープ「ユニ アルファゲル」シリーズより、8年ぶりの新商品として、高反発の「かため」グリップを新採用した「ユニ アルファゲル<シャカシャカ機構搭載モデル:かため>」と「ユニ アルファゲル<スリムタイプ:かため>」を発売いたしました。さらに、SNS等の普及を始めとするコミュニケーションの在り方やライフスタイルの変化を踏まえ、水性サインペン「ポスカ」を中心とする商品を、自分らしさを表現するツールとして改めてご提案し、拡売に努めてまいりました。

これらの活動の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は176億10百万円(前年同期比5.9%増)となりました。また営業利益は31億68百万円(前年同期比0.3%減)、経常利益は32億16百万円(前年同期比3.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は21億63百万円(前年同期比2.2%増)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

筆記具及び筆記具周辺商品事業は、ジェットストリーム等をはじめとするボールペンやサインペンが堅調に推移し、外部顧客への売上高は169億73百万円(前年同期比6.1%増)となりました。また、その他の事業は、粘着テープ事業及び手工芸品事業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあるものの、外部顧客への売上高は6億37百万円(前年同期比1.5%増)となりました。

なお、上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、たな卸資産が減少したものの、主として現金及び預金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べて12億33百万円増加し、1,181億15百万円となりました。

負債は、賞与引当金が増加したものの、主として短期借入金と長期借入金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べて37百万円減少し、276億93百万円となりました。

純資産は、主として利益剰余金が増加し、自己株式を取得したことにより前連結会計年度末に比べて12億70百万円増加し、904億22百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年2月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,393	43,819
受取手形及び売掛金	18,090	18,964
たな卸資産	16,747	16,007
その他	2,709	2,083
貸倒引当金	△828	△773
流動資産合計	79,111	80,101
固定資産		
有形固定資産	21,411	21,424
無形固定資産	1,104	1,057
投資その他の資産		
投資有価証券	13,773	14,045
その他	1,480	1,486
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	15,254	15,532
固定資産合計	37,770	38,014
資産合計	116,882	118,115

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,451	8,600
短期借入金	1,765	1,615
未払法人税等	849	962
賞与引当金	501	1,174
返品引当金	52	52
その他	5,195	4,721
流動負債合計	16,817	17,127
固定負債		
長期借入金	5,461	5,280
退職給付に係る負債	3,812	3,834
役員退職慰労引当金	103	106
その他	1,536	1,343
固定負債合計	10,913	10,565
負債合計	27,730	27,693
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,497	4,497
資本剰余金	3,721	3,721
利益剰余金	78,986	80,296
自己株式	△4,794	△5,108
株主資本合計	82,411	83,407
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,485	4,674
為替換算調整勘定	863	895
退職給付に係る調整累計額	△158	△160
その他の包括利益累計額合計	5,191	5,409
非支配株主持分	1,549	1,605
純資産合計	89,151	90,422
負債純資産合計	116,882	118,115

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
売上高	16,626	17,610
売上原価	7,821	8,695
売上総利益	8,805	8,914
販売費及び一般管理費	5,625	5,746
営業利益	3,179	3,168
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	18	12
受取地代家賃	20	18
受取保険金	20	13
為替差益	—	29
その他	22	8
営業外収益合計	86	87
営業外費用		
支払利息	10	9
為替差損	83	—
シンジケートローン手数料	19	9
売上割引	15	15
その他	17	5
営業外費用合計	147	40
経常利益	3,118	3,216
特別利益		
固定資産売却益	1	4
特別利益合計	1	4
特別損失		
固定資産除売却損	5	1
工場再編損失	31	62
特別損失合計	36	64
税金等調整前四半期純利益	3,083	3,155
法人税等	869	899
四半期純利益	2,214	2,255
非支配株主に帰属する四半期純利益	98	92
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,115	2,163

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	2,214	2,255
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△984	189
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	△640	23
退職給付に係る調整額	24	△2
その他の包括利益合計	△1,601	209
四半期包括利益	612	2,465
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	564	2,381
非支配株主に係る四半期包括利益	48	83

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結会計期間において、uni Mitsubishi Pencil North America, Inc.、uni-ball Corporationを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	15,998	628	16,626	—	16,626
セグメント間の内部売上高又は振替高	4	7	12	△12	—
計	16,003	635	16,638	△12	16,626
セグメント利益	3,136	36	3,172	6	3,179

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	16,973	637	17,610	—	17,610
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	7	11	△11	—
計	16,977	645	17,622	△11	17,610
セグメント利益	3,132	32	3,165	3	3,168

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。